

地域労働市場の構造と外国人労働者雇用 静岡県浜松市の事例研究

～ 地域産業構造の高度化事業と外国人雇用との関わりを中心として ～

本研究は、産業構造調整の渦中にある浜松市を中心に静岡県西部地域における企業、関係団体に対してアンケート調査、インタビュー調査を実施した。さらに先端技術を駆使する産業、量産技能を重視する産業、第三次産業等の各々が需要する労働力の質および量を分析検討した。

これらを踏まえて、外国人労働者が既に多数就労している静岡県西部地域における外国人雇用の実態を明らかにすることを通じて、外国人労働者問題の理解に寄与した。

◆研究委員会メンバー

〈主 査〉依 光 正 哲 一橋大学 教授

〈委 員〉佐 野 哲 日本労働研究機構 研究員

山 本 恭 逸 (社)社会経済国民会議 国際経済政策部

大 和 和 正 中小企業団体中央会 指導流通部

◆目 次

研究の概要

はじめに

第 1 章 テクノポリスと地域産業の構造調整

第 2 章 産業構造調整—地域労働市場—外国人労働者のリンケージ

第 3 章 人事の国際化に関する個別企業の事例研究